



ご紹介

レベルソ・トリビュート・エナメル 葛飾北斎 諸国瀧巡りシリーズ

4つの新たなレベルソ・トリビュート・エナメルのタイムピースで
葛飾北斎の4作品を称えます

概要：

- 4作品を精緻に細部まで再現：葛飾北斎の『諸国瀧廻り』をグラン・フー・エナメルの細密画で表現した各限定10本の4モデル
- メティエ・ラール[™]を披露：時計1本の制作にあたり100時間。手作業によるギョーシェ彫りとエナメルダイヤル、細密画を施したケースバック
- 日本を代表する19世紀の芸術家を称えて：葛飾北斎の『諸国瀧巡り』シリーズ最終作

ジャガー・ルクルトは、日本を代表する19世紀の芸術家、葛飾北斎へのオマージュを継続し、『諸国瀧巡り』シリーズに着想を得たレベルソ・トリビュート・エナメルの新作4モデルを発表します。10点限定の4つのモデルはそれぞれ、ジャガー・ルクルトのメティエ・ラール[™]工房の職人によって手作業で装飾が施されています。ダイヤルにはギョーシェ彫りとエナメルが、またケースバックには葛飾北斎の作品をモチーフにしたエナメル細密画が配されています。葛飾北斎の全8図構成の『諸国瀧巡り』シリーズの前作同様、新たなレベルソが描く最後の4作は、『相州大山ろうべんの滝』、『東海道坂ノ下清滝くわんおん』、『美濃ノ国養老の滝』、そして『東都葵ヶ岡の滝』です。

東西を結ぶ芸術の架け橋を称えて

葛飾北斎（1760年頃～1849年）は、東洋と西洋の美術運動の架け橋として称賛され、日本の美術に深い影響を与えた革新者でした。その名声は主に、19世紀に浮世絵にもたらした革新的な手法によるものですが、これにより、約200年にわたり題材が限定されていたジャンルが、風景や植物、動物を含むものへと変容したのです。北斎は多くの作品を残した画家、版画家であり、彼の生涯において木版画は浮世絵を複製する手段として隆盛を極めました。主に葛飾北斎による浮世絵と木版画は、西洋における日本美術の認識形成の中心となり、印象派やその後の芸術運動に大きな影響を与えました。

2018年より、ジャガー・ルクルトは北斎の芸術作品を称え、レベルソ・トリビュート・エナメル限定モデルを発表しています。



2018 年：『神奈川沖浪裏』を含む北斎の代表的なシリーズ『富嶽三十六景』に敬意を表した、初のレベルソ・トリビュート・エナメル・葛飾北斎

2021 年：レベルソ・トリビュート・エナメル限定モデルで、『諸国瀧巡り』シリーズの 1 作品、『下野黒髪山きりふりの滝』を再現

2022 年：レベルソ・トリビュート・エナメル限定モデルで、もう 1 枚の『諸国瀧巡り』シリーズ、『木曾路ノ奥阿弥陀ヶ滝』を再現

2023 年：レベルソ・トリビュート・エナメル限定モデルで、さらにもう 2 枚の『諸国瀧巡り』シリーズ、『木曾海道小野ノ瀑布』と『和州吉野義経馬洗滝』を再現

2026 年：レベルソ・トリビュート・エナメル限定モデルで、『諸国瀧巡り』シリーズの最後の 4 枚、『相州大山ろうべんの滝』、『東海道坂ノ下清滝くわんおん』、『美濃ノ国養老の滝』、そして『東都葵ヶ岡の滝』をミニチュアサイズで再現

葛飾北斎の全 8 枚のシリーズ『諸国瀧巡り』は、落水という主題が浮世絵で初めて描かれた作品であり、当時新しく流行していたプルシアンブルー顔料を画家が初期に用いた例の一つとして、日本美術の転換点と認められています。18 世紀にベルリンで最初の近代的な合成顔料として生み出されたプルシアンブルーは、19 世紀初頭にヨーロッパから日本に伝わりました。それ以前は、ヨーロッパと日本の芸術家たちは主に、藍から抽出した青色と砕いた半貴石から得られるものを使用していました。プルシアンブルーは、従来の日本の青顔料では得られない色の強度、深み、そして永続性が実現でき、より豊かで多様な青の色調を可能にしました。葛飾北斎はこの新たな顔料を初期に取り入れ、また熱心に使用し、『富嶽三十六景』を含む多くの作品に取り入れました。『諸国瀧巡り』シリーズにおいて、プルシアンブルーは巧みに滝の力強さと威厳を表現し、青のグラデーションが奔流に深い奥行きと躍動感を与えています。北斎がプルシアンブルーを用いたことは、単なる色彩の問題ではなく、表現を豊かにし、日本の版画芸術を変革し、永続的な遺産を残した技術的・芸術的革新でもありました。

滝の美しさ：芸術性と精密さ

北斎の芸術が生涯にわたる技法の探求を通じて進化したように、ジャガー・ルクルトの自社工房メテイエ・ラールTMの職人たちは、自らの技術の限界を絶えず押し広げ、ついに北斎の傑作『諸国瀧巡り』シリーズを、この最後の四つの傑作をもって完成させました。これらのレベルソ・トリビュート・エナメル限定モデルは、裏側に施されたエナメル細密画に権威あるジュネーブ技法を採用しています。この高度な工程では、最低 14 層のエナメルを 800°C で焼成し、次の層を塗布する前に完全に硬化させる必要があります。総計 80 時間に及ぶ緻密な作業を要します。木版画特有のぼかし効果を含む、北斎の原画の色調を忠実に再現する技術的偉業に加え、エナメル職人はわずか 2cm² という非常に小さなスケールでこれらの精緻な作品を転写しなければならないという課題に直面しました。最も注目すべきは、各フレーム上部に配置されたカルトウーシュに、オリジナルの日本語キャプションが非常に



小さく手書きで施されている点です。しかも、そのキャプションは完璧な正確性を保ち、目で見て分かるのです。裏側に施されたこの精巧な芸術性は、植字バトン型アワーマーカー、ドーフィン針、ミニツトラックなどが特徴の控えめなデザインの表ダイヤルと、豊かで予想外のコントラストを生み出しています。表ダイヤルは幾何学と色彩の融合により、さらなる熟練の技を体現しています。手作業によるギョーシェ彫りが完成すると、4〜5層の半透明カラーのエナメルが施され、各層ごとに焼成と乾燥を繰り返し、魅惑的な仕上がりを実現しています。

ミニチュアサイズの『相州大山ろうべんの滝』は、その名のとおり滝の奔流と垂直の滝壺を描いているだけでなく、人々がそれを体験する楽しみも表現しています。小さく描かれた人の群れが清めの水たまりに集い、雄大な水流に圧倒されている様子が表現されています。象徴的なコントラストは強力で、自然の力強さと人間の脆さが共存し、手作業によるギョーシェ彫りの表ダイヤルには、バーリーコーン模様が施されています。このギョーシェ模様には、非常に細かく掘り込まれた 49 本の線が必要であり、各線はロゼット模様旋盤による 3 回の連続加工を経て、合計 147 回の加工を施した後、淡いウォルナットブラウンのエナメルで覆われます。

『東海道坂ノ下清滝くわんおん』において、滝の水流は他の版画に比べ力強さを抑え、より繊細に描かれており、それはまるで柔らかな絹の糸のようです。滝は観音寺や、滝を眺めるだけでなく、精神的な再生を求めて階段を登る巡礼者たちと同じ景色を共有しています。手作業によってギョーシェ模様が施されたダイヤルは、魅惑的な波模様を浮かび上がらせ、半透明でエメラルドカラーに近いエナメルの下できらめく波模様は、非常に細かく掘り込まれた 66 本以上の線から構成されており、各線はロゼット模様旋盤による 3 回の連続加工で施され、ギョーシェ加工のみに費やされた加工回数は合計 198 回に及びます。

『美濃ノ国養老の滝』は、その美しさと伝説の両方で有名です。神からの贈り物として、その水は酒になると信じられていました。北斎は自然の滝の力強さと物語の精神を捉え、前景の人物たちは滝の規模と劇的な迫力の前では取るに足らない存在のように表現しています。手作業によってギョーシェ模様が施された表ダイヤルは、魅惑的で新しい竹模様を浮かび上がらせ、深みのあるオリーブカラーのエナメルでコーティングされています。この精巧なデザインは、非常に精密に掘り込まれた 48 本の線によって命が吹き込まれ、各線には 3 つの異なる工程が必要であり、合計 144 本の卓越した線が用いられています。

『東都葵ヶ岡の滝』では、力強い流れが岩肌を流れ落ち、滝の源流となる静かな湖水と、滝壺の荒々しい水流との間に、鮮やかなコントラストが生まれています。この場面の人々は、滝の美しさと力強さに全く気づいていないかのように、日常の営みを続けています。手作業によってギョーシェ模様が施された表ダイヤルには、新たにヘリンボーンスタイルの模様が登場し、鮮やかなシアンブルーエナ



メルで仕上げられています。この精巧なギョーシェ彫りは、非常に精密に掘り込まれた 120 本の線から成り、各線には 3 つの異なる工程が必要であり、合計 360 本という驚異的な数の見事な線が織りなすものです。

各タイムピースには、18K ホワイトゴールド製フォールディングクラスプ付きブラックアリゲーターレザーストラップ、または 18K ホワイトゴールド製「アールデコ」ミラネーゼブレスレットのいずれかを組み合わせることができます。これら 4 つの限定モデルにはすべて、1991 年に初登場した手巻きキャリバー822 が搭載され、レベルソを象徴する長方形のケースの形状に忠実に沿うように設計されています。その高さはわずか 2.94mm のスリムな設計で、レベルソのケースの薄さと手首への抜群の快適性を実現しています。42 時間のパワーリザーブと 3Hz の振動数を備えたジャガー・ルクルトのキャリバー822 は、この美しい芸術品を腕に纏うための信頼性の高い精密なムーブメントです。

技術仕様

レベルソ・トリビュート・エナメル・葛飾北斎 諸国瀧巡り - 相州大山ろうべんの滝

ケース：18K ホワイトゴールド

サイズ：45.6×27.4×9.73mm

キャリバー：手巻ジャガー・ルクルト製キャリバー822

機能：時、分

パワーリザーブ：42 時間

表ダイヤル：バーリーコーン模様のギョーシェ彫り、グラン・フー・エナメル

裏ダイヤル：クローズド - 細密画 グラン・フー・エナメル

防水性：30m

ストラップ：小さな鱗模様入りのライニングと 18K ピンクゴールド製フォールディングバックル付きブラックアリゲーターレザー、または 18K ホワイトゴールド製ミラネーゼブレスレット、どちらも交換可能

リファレンス：Q39334T7

[10 本限定モデル]

レベルソ・トリビュート・エナメル・葛飾北斎 諸国瀧巡り - 東海道坂ノ下清滝くわんおん

ケース：18K ホワイトゴールド

サイズ：45.6×27.4×9.73mm

キャリバー：手巻ジャガー・ルクルト製キャリバー822

機能：時、分

パワーリザーブ：42 時間

表ダイヤル：波模様のギョーシェ彫り、グラン・フー・エナメル

裏ダイヤル：クローズド - 細密画 グラン・フー・エナメル



防水性 : 30m

ストラップ : 小さな鱗模様入りのライニングと 18K ピンクゴールド製フォールディングバックル付きブラックアリゲーターレザー、または 18K ホワイトゴールド製ミラネーゼブレスレット、どちらも交換可能

リファレンス : Q39334T8

[10 本限定モデル]

レベルソ・トリビュート・エナメル・葛飾北斎 諸国瀧巡り - 美濃ノ国養老の滝

ケース : 18K ホワイトゴールド

サイズ : 45.6×27.4×9.73mm

キャリバー : 手巻ジャガー・ルクルト製キャリバー822

機能 : 時、分

パワーリザーブ : 42 時間

表ダイヤル : バンブー模様のギョーシェ彫り、グラン・フー・エナメル

裏ダイヤル : クローズド - 細密画グラン・フー・エナメル

防水性 : 30m

ストラップ : 小さな鱗模様入りのライニングと 18K ピンクゴールド製フォールディングバックル付きブラックアリゲーターレザー、または 18K ホワイトゴールド製ミラネーゼブレスレット、どちらも交換可能

リファレンス : Q39334T6

[10 本限定モデル]

レベルソ・トリビュート・エナメル・葛飾北斎 諸国瀧巡り - 東都葵ヶ岡の滝

ケース : 18K ホワイトゴールド

サイズ : 45.6×27.4×9.73mm

キャリバー : 手巻ジャガー・ルクルト製キャリバー822

機能 : 時、分

パワーリザーブ : 42 時間

表ダイヤル : ヘリンボーン模様のギョーシェ彫り、グラン・フー・エナメル

裏ダイヤル : クローズド - 細密画グラン・フー・エナメル

防水性 : 30m

ストラップ : 小さな鱗模様入りのライニングと 18K ピンクゴールド製フォールディングバックル付きブラックアリゲーターレザー、または 18K ホワイトゴールド製ミラネーゼブレスレット、どちらも交換可能

リファレンス : Q39331T9

[10 本限定モデル]



ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカー™ の中のウォッチメーカーとして知られるマニュファクチュールは、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニュファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

jaeger-lecoultre.com